

北アルプスに迫る シカによる生態系への影響

2023年7月31日(月)
14:00~16:30
(13:30開場)

長野県松本市Mウィング
及び
オンライン (zoom)

参加費：無料

事例報告 (40分)

- ・ 中部山岳国立公園におけるニホンジカ対策 栗木隼大 (環境省)
- ・ 中部山岳国立公園におけるニホンジカの分布拡大状況 泉山茂之 (信州大学)
- ・ 富山県におけるシカ対策の取り組み 中島剛 (富山県庁)

パネルディスカッション (80分)

国立公園内におけるシカの協働型管理について

参加者

コーディネーター：市川哲生 (BO-GA)

泉山茂之 (信州大学) 富田涼都 (静岡大学) 柏原一正 (種池山荘ほか山小屋)

中島剛 (富山県庁) 小枝幸博 (林野庁) 栗木隼大 (環境省)

尾関雅章 (長野県環境保全研究所)

そして、、、あなた!! (コメントを通じて議論に参加)

開催趣旨

日本を代表する山岳、中部山岳国立公園。槍穂高をはじめとする3,000m級の山々が連なり、高山帯特有のクモマキンポウゲやタカネキンポウゲ等の希少植物、ライチョウやタカネヒカゲ等の動物が数多く生息していることが知られています。しかし近年、ニホンジカの生息が当公園内においても確認されるようになってきました。ニホンジカは希少植物を含む多種多様な植物を食べるため、過剰な増加による生態系への影響を大いに懸念しています。そこで、本シンポジウムでは、北アルプスの各地でシカ問題に関わりのある方々をお招きし、中部山岳におけるニホンジカ対策について考えていきます。

プログラム

14:00 開催挨拶 環境省

事例報告

14:10 中部山岳国立公園におけるニホンジカ対策について

14:25 中部山岳国立公園におけるニホンジカの分布拡大状況

14:40 富山県のシカ対策の取り組み

14:50 休憩

パネルディスカッション

15:00 テーマ：国立公園内におけるシカの協働型管理について

16:20 終了挨拶

参加案内

会場参加

住所 長野県松本市中央1-18-1 Mウイング3階 3-1・3-2会議室

アクセス 松本駅から徒歩5分・Mウイング北棟に有料駐車場あり

定員 70名

申込締め切り 7月28日(金)12:00まで

※参加者多数の場合、オンラインでの参加をお願いをすることがあります。

オンライン参加

インターネットの繋がるPC、スマートフォン等が必要です。

後日zoomの招待リンクを送付いたします

参加締め切り 7月30日(日)12:00まで



↑お申し込みはこちらから

主催

中部山岳国立公園野生鳥獣対策連絡協議会

事務局 環境省信越自然環境事務所

TEL 026-231-6572

運営事務局

株式会社 Foresters PRO

Mail info@foresterspro.com